

B5フルカラー印刷
製品寸法：271×193mm
展開寸法：271×386mm

塗り足し（断裁位置いっぱいまでデザインする場合、この範囲まで背景や絵柄等のデザインを付けてください）

折り位置

展開寸法386mm

仕上寸法
271mm

6mm幅

仕上寸法193mm

◆カラー版 2ページ目に白版、3ページ目にデータ作成の注意点がございます。ご確認ください。

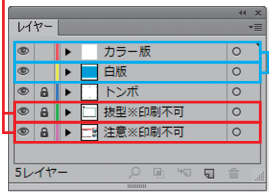
溶着部分（斜線）への印刷も
可能ですが、欠けてはいけない
文字等はいれないで下さい

必ず確認してください

- ☐ 印刷に必要なデータが「カラー版」「白版」レイヤー^{※1}以外に入っていないですか？
（抜型や注意の印刷不可レイヤーに印刷データを作成しても印刷されません。）
- ☐ 使用したリンク画像ファイルなど必要なデータは揃っていますか？
（埋め込んだ画像ファイルも弊社にて確認いたしますので必ず入稿してください。）
- ☐ 文字のアウトライン化はしましたか？
- ☐ パターンのアウトライン化はしましたか？
- ☐ 総インキ量は350%以内になっていますか？
- ☐ データは正常に開きますか？
- ☐ 塗り足し部分は作成されていますか？
- ☐ 不要なデータは表示されていない状態ですか？
- ☐ 印刷サイズで作成されていますか？
- ☐ 不必要なオーバープリントはかかっていますか？
（不必要なオーバープリント設定がかかっている場合、意図していない色味に変わってしまったり、オブジェクトが印刷に反映されない恐れがあります。）
- ☐ 白版^{※2}は作成しましたか？
- ☐ カラーモードはCMYKになっていますか？
- ☐ 溶着位置に潰れてはいけない文字や絵柄が重なっていないでしょうか？

●レイヤーについて^{※1}

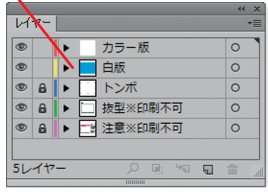
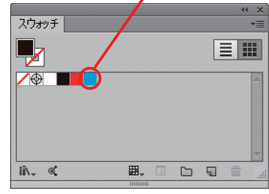
「カラー版」と「白版」レイヤーに印刷データを作成してください。
「抜型」と「注意」レイヤーに印刷データが入っていても印刷されませんので、ご注意ください。



カラーデータは「カラー版」レイヤーに
白版データは「白版」レイヤーに作成してください。

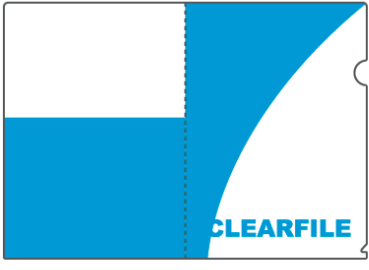
●白版について^{※2}

クリアファイル素材のPP（ポリプロピレン）は透明な素材です。
デザインを透けにくくしたい場合や白くみせたい所には白色を印刷する必要があります。
カラーズウォッチの白版で白版レイヤー上に作成してください。

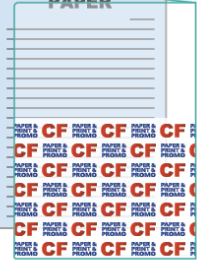


弊社にて白版作成（修正）を行った場合、複雑な白版などは
別途料金が発生する場合がございますのでご注意ください。

部分的白印刷の場合



【仕上がりイメージ】

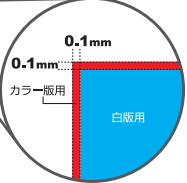


●白版の作り方

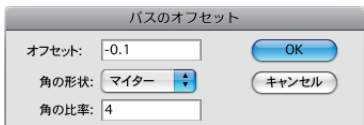
クリアファイル素材のPP（ポリプロピレン）は性質上、印刷時に伸縮が起こります。
印刷の白版スレを目立たなくする為、**カラー版より0.1mm小さく**作成してください。

CLEARFILE

カラー版と白版が重なったイメージ



CLEARFILE カラー版
CLEARFILE 白版



▶作り方《例》
白版用オブジェクトを選択した状態で
メニューの「効果」→「パス」→「パスのオフセット」を選択。
オフセット値を-0.1mmに設定。

B5フルカラー印刷
製品寸法：271×193mm
展開寸法：271×386mm

塗り足し（断裁位置いっぱいまでデザインする場合、この範囲まで背景や絵柄等のデザインを付けてください）

折り位置

展開寸法386mm

仕上寸法
271mm

裏面白ベタ印刷

6mm幅

仕上寸法193mm

◎裏面白ベタ印刷 2ページ目に白版、3ページ目にデータ作成の注意点がございます。ご確認ください。

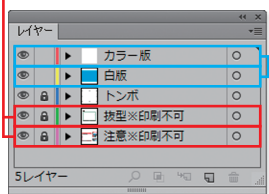
溶着部分（斜線）への印刷も
可能ですが、欠けてはいけない
文字等はいれないで下さい

必ず確認してください

- ☐ 印刷に必要なデータが「カラー版」「白版」レイヤー^{※1}以外に入っていないですか？
（抜型や注意の印刷不可レイヤーに印刷データを作成しても印刷されません。）
- ☐ 使用したリンク画像ファイルなど必要なデータは揃っていますか？
（埋め込んだ画像ファイルも弊社にて確認いたしますので必ず入稿してください。）
- ☐ 文字のアウトライン化はしましたか？
- ☐ パターンのアウトライン化はしましたか？
- ☐ 総インキ量は350%以内になっていますか？
- ☐ データは正常に開きますか？
- ☐ 塗り足し部分は作成されていますか？
- ☐ 不要なデータは表示されていない状態ですか？
- ☐ 印刷サイズで作成されていますか？
- ☐ 不必要なオーバープリントはかかっていますか？
（不必要なオーバープリント設定がかかっている場合、意図していない色味に変わってしまったり、オブジェクトが印刷に反映されない恐れがあります。）
- ☐ 白版^{※2}は作成しましたか？
- ☐ カラーモードはCMYKになっていますか？
- ☐ 溶着位置に潰れてはいけない文字や絵柄が重なっていないでしょうか？

●レイヤーについて^{※1}

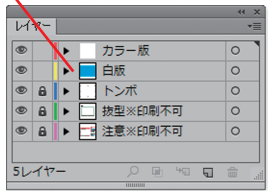
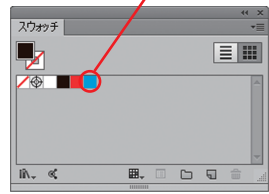
「カラー版」と「白版」レイヤーに印刷データを作成してください。
「抜型」と「注意」レイヤーに印刷データが入っていても印刷されませんので、ご注意ください。



カラーデータは「カラー版」レイヤーに
白版データは「白版」レイヤーに作成してください。

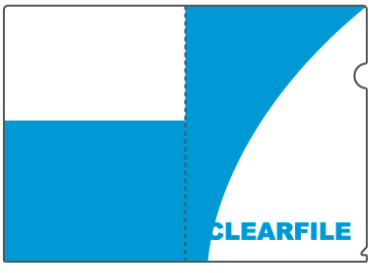
●白版について^{※2}

クリアファイル素材のPP（ポリプロピレン）は透明な素材です。
デザインを透けにくくしたい場合や白くみせたい所には白色を印刷する必要があります。
カラーズウォッチの白版で白版レイヤー上に作成してください。



弊社にて白版作成（修正）を行った場合、複雑な白版などは
別途料金が発生する場合がございますのでご注意ください。

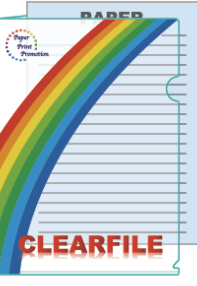
部分的白印刷の場合



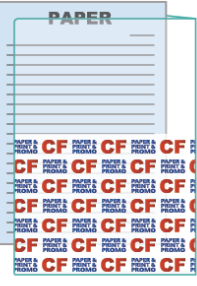
〈ウラ面〉

〈オモテ面〉

【仕上がりイメージ】



〈オモテ面〉



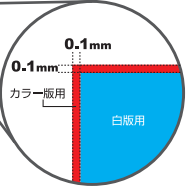
〈ウラ面〉

●白版の作り方

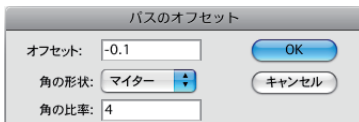
クリアファイル素材のPP（ポリプロピレン）は性質上、印刷時に伸縮が起こります。
印刷の白版スレを目立たなくする為、**カラー版より0.1mm小さく**作成してください。

CLEARFILE

カラー版と白版が重なったイメージ



CLEARFILE カラー版
CLEARFILE 白版



▶作り方《例》
白版用オブジェクトを選択した状態で
メニューの「効果」→「パス」→「パスのオフセット」を選択。
オフセット値を-0.1mmに設定。

クリアファイルデータ作成の注意点

Ai イラストレータでのデータ作成時 対応バージョン Creative Cloud(CC) まで Adobe Illustratorでのデータ作成注意点

01. Illustratorで画像をリンクしている場合は、リンク画像も一緒にデザインデータのフォルダに入れて入稿して下さい。
02. パターンのアウトライン化がされていない場合、印刷データへの変換時に絵柄が崩れる可能性があるため、パターンは必ずアウトライン化してください。
03. 弊社に無いフォントの場合、意図していないフォントに置き換わったり文字が化けてしまったりするため、テキストは必ずアウトライン化して下さい。
04. テキストを打った時にできる余分なアンカーポイント(孤立点)は削除して下さい。
05. データの総インキ量を350%以内にして下さい。(総インキ量が高いとインキ剥がれの原因となります。)
06. 断裁ラインの天地左右に各3mmの塗り足し分を必ず作成して下さい。
(※色が断裁ラインギリギリに配置されている場合、断裁時に白いフチや透明な隙間ができる可能性があるため、断裁ラインの外側まで色を塗り足します。)
07. 不必要なオーバープリントがかかっているか、確認して下さい。
(※不必要なオーバープリント設定がかかっている場合、意図していない色味に変わってしまったり、オブジェクトが印刷に反映されない恐れがあります。)
08. カラーモードをRGBからCMYKに変換して下さい。モニター上で見た色と印刷した際の色の再現が大きく異なります。
09. 塗りで作られた細い線は、モニター上で見えていても、印刷時にかすれたり消えたりするため必ず線で作成して下さい。
10. 保存時にバージョンを下げないで下さい。(作成していたデータと保存したデータに違いが出てしまうので、ミスのもとになります。)
11. データの保存形式はai形式かeps形式にして下さい。

Ps フォトショップでのデータ作成時 対応バージョン Creative Cloud(CC) まで Adobe Photoshopでのデータ作成注意点

01. 印刷物で十分な品質を確保するためには画像解像度の確認をしてください。
フルカラーの画像データは、原寸サイズで300~350dpiの解像度が必要となります。
グレースケールやモノクロ二階調の画像データは、原寸サイズで600~1200dpiの解像度が必要です。
02. レイヤーの表示非表示により、印刷されないレイヤーがある等のトラブルの原因になる可能性があるため、作業中に作成した印刷に使用する全てのレイヤーは、一枚の背景レイヤーに統合して下さい。またこれを行うと、フォントもラスターライズされ、フォントのアウトライン作成は必要ありません。
03. データの総インキ量を350%以内にして下さい。(総インキ量が高いとインキ剥がれの原因となります。)
04. カラーモードをRGBからCMYKに変換して下さい。モニター上で見た色と印刷した際の色の再現が大きく異なります。
05. データの保存形式はpsd形式かeps形式にして下さい。

Office系ソフトでのデータ作成時 Office系ソフトでのデータ作成注意点

Office系アプリケーションは、そのままのデザインデータでは印刷することはできません。データを変換することで、印刷を可能にしています。
この変換時に色合いの変化やレイアウトの崩れなどが起きますので、以降ご説明する点を注意してデザインデータを作成して下さい。

下記4項目の問題点に関しましては、制作環境および対応フォントの違いにより発生するものです。

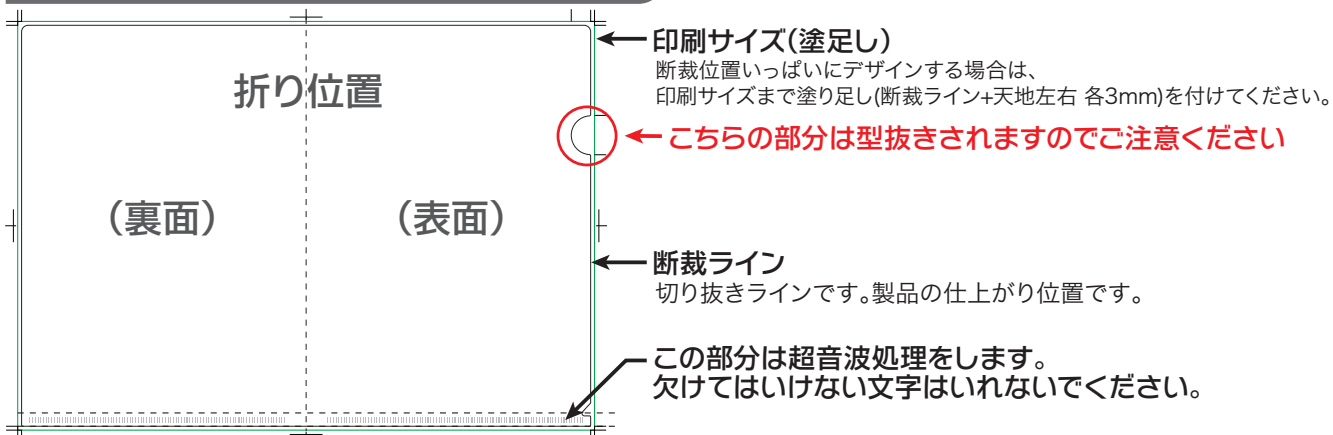
色合いやレイアウトが変わっていないか確認を行う為、デザインデータの入稿と併せて最終原稿をPDFにてお送りください。

01. 弊社にないフォントを使用されている場合、データ変換後に異なるフォントに置き換えられます。
02. データ内の文章中に、意図しない改行が発生してしまう場合があります。
03. 透明効果を使用しているデザインデータの場合、正常に変換が行なえません。
Officeアプリケーション固有の機能に依存する効果は失われることもあります。
04. Office系データのカラーモードはRGB形式であり、オフセット印刷のカラーモードのCMYK形式に変換すると色合いが変わることがあります。
RGB特有の蛍光色のような色はかなりくすむこともあります。

※【注意】問題が100% 解決する訳ではありません。変換後の校正PDFファイルをメールでお送りいたしますので必ずご確認ください。

※Office系データを変換の際、弊社にてデータ修正が必要な場合は別途料金が発生する場合がございます。

テンプレートデータについて(例)A4フルカラー



ご注意 クリアファイルのベタ面、CMYK総インキ量の制限は350%です。
350%以上ですとクリアファイルにインクが定着せず、インクがはがれてしまう恐れがございます。

白版について

◆弊社にて白版作成(修正)を行った場合、複雑な白版などは別途料金が発生する場合がございますのでご注意ください。

クリアファイル素材のPP(ポリプロピレン)は透明な素材です。
デザインを透けにくくしたい場合や白くみせたい所には白色を印刷する必要があります。

部分的白印刷の場合



白版の作り方

クリアファイル素材のPP(ポリプロピレン)は性質上、印刷時に伸縮が起こります。
印刷の白版ズレを目立たなくする為、**カラー版より0.1mm小さく**作成してください。

